

オキシコンチン TR錠 5mg
 オキシコンチン TR錠 10mg
 オキシコンチン TR錠 20mg
 オキシコンチン TR錠 40mg

【この薬は？】

販売名	オキシコンチン TR錠 5 mg OXYCONTIN TR Tablets 5mg	オキシコンチン TR錠 10 mg OXYCONTIN TR Tablets 10mg	オキシコンチン TR錠 20 mg OXYCONTIN TR Tablets 20mg	オキシコンチン TR錠 40 mg OXYCONTIN TR Tablets 40mg
一般名	オキシコドン塩酸塩水和物 Oxycodone Hydrochloride Hydrate			
含有量 (1錠中)	5.77mg (無水物として 5mgに相当)	11.54mg (無水物として 10mgに相当)	23.07mg (無水物として 20mgに相当)	46.14mg (無水物として 40mgに相当)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

▼
 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、持続性疼痛治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、痛みを伝える神経組織や痛みの中枢に働きかけ、痛みを和らげます。痛みの原因そのものを治す薬ではありません。
- ・この薬は、次の目的で処方されます。

**中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛
非オピオイド鎮痛薬又は他のオピオイド鎮痛薬で治療困難な中等度から高度
の慢性疼痛における鎮痛**

- ・この薬は、自己判断で使用を中止したり、量を加減したりすると症状が悪化したり副作用があらわれることがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・重篤な呼吸抑制のある人や重篤な慢性閉塞性肺疾患のある人
 - ・気管支喘息発作中の人
 - ・慢性肺疾患に続発する心不全の人
 - ・痙攣状態（てんかん重積症、破傷風、ストリキニーネ中毒）にある人
 - ・麻痺性イレウスの人
 - ・急性アルコール中毒の人
 - ・アヘンアルカロイドに対して過敏症の人
 - ・出血性大腸炎の人
 - ・ナルメフェン塩酸塩水和物を服用中または最後に服用した日から1週間以内の人
- 次の人は、原則として、この薬を使用することはできません。
 - ・細菌性下痢のある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・心臓に障害のある人または低血圧の人
 - ・呼吸機能に障害のある人
 - ・肝臓や腎臓に障害のある人
 - ・脳に器質的な障害のある人
 - ・ショック状態にある人
 - ・代謝性アシドーシスのある人
 - ・甲状腺機能低下症（粘液水腫など）の人
 - ・副腎皮質機能低下症（アジソン病など）の人
 - ・薬物・アルコール依存の人または過去に薬物・アルコール依存になった人
 - ・薬物・アルコールなどによる精神障害のある人
 - ・高齢の人
 - ・衰弱している人
 - ・前立腺肥大により排尿に障害のある人、尿道が狭窄している人、尿路手術術後の人
 - ・器質的な幽門狭窄のある人または最近消化管手術を受けた人
 - ・過去に痙攣を起こしたことがある人
 - ・胆嚢に障害のある人、胆石症または膵炎の人
 - ・重篤な炎症性腸疾患のある人

○この薬には併用してはいけない薬[ナルメフェン塩酸塩水和物(セリンクロ)]や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

[中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛に用いる場合]

1日量	初期量		通常量
	非オピオイド鎮痛薬から本剤に切り替える場合	他のオピオイド鎮痛薬から本剤に切り替える場合	
	10～20mg	切り替え前の薬の種類と量に応じて医師が判断します	10～80mg
飲む回数	1日2回（12時間ごと）		

[非オピオイド鎮痛薬又は他のオピオイド鎮痛薬で治療困難な中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛に用いる場合]

1日量	初期量		通常量
	非オピオイド鎮痛薬から本剤に切り替える場合	他のオピオイド鎮痛薬から本剤に切り替える場合	
	10mg	切り替え前の薬の種類と量に応じて医師が判断します	10～60mg
飲む回数	1日2回（12時間ごと）		

- ・症状により、適宜、飲む量が増減されます。
- ・1錠中に有効成分を5mg、10mg、20mgまたは40mg含有するものがあり、これらを組み合わせて飲むことがあります。
- ・この薬による治療を止める場合は、徐々に飲む量を減らします。医師の指示どおりに飲んでください。
- ・この薬は食事の影響を受けますので、食後または空腹時のいずれかで医師の指示どおりに飲んでください。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。飲み忘れに気がついた時に、1回分

を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とぼして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

誤って多く飲んだ場合は、呼吸抑制、意識不明、痙攣（けいれん）（顔や手足の筋肉がぴくつく）、錯乱（注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない）、血圧低下、重篤な脱力感、重篤なめまい、嗜眠（しみん）（刺激がないと眠ってしまう）、心拍数の減少、神経過敏、不安、縮瞳（瞳孔が点のように小さくなる）、皮膚冷感などの症状があらわれる可能性があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を服用するにあたって、服用方法、服用時の注意点や保管方法などを十分理解できるまで説明を受けてください。この薬の目的以外に使用したり、他人に譲渡したりしないでください。
- ・この薬を飲む際は、割ったり、砕いたり、あるいはかみ砕かないようにしてください。
- ・この薬は水を含むとゲル化しますので、舐めたり、ぬらしたりせず、口に入れた後はすみやかに十分な水でそのまま飲み込んでください。嚥下（えんげ）が困難な人、および消化管の狭窄（きょうさく）を伴う疾患のある人は、医師に相談してください。
- ・この薬を連用すると薬物依存があらわれる可能性がありますので、異常を感じたときは、すみやかに医師に相談してください。
- ・眠気やめまいがあらわれることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳中の方は、授乳を避けてください。
- ・アルコール飲料はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい

重大な副作用	主な自覚症状
依存性 いぞんせい	ある薬を摂取したいと強く思いコントロールが出来ない、手足のふるえ、発汗、幻覚、不眠
呼吸抑制 こきゅうよくせい	呼吸回数が減る、呼吸が浅くなる
錯乱 さくらん	注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない
譫妄 せんもう	軽度の意識混濁、興奮状態、幻覚、妄想
無気肺 むきはい	息苦しい、唇が青紫色になる、手足の指先が青紫色になる、意識の低下、意識の消失、動悸
気管支痙攣 きかんしけいれん	息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする、突然の息切れ
喉頭浮腫 こうとうふしゅ	声が出にくい、喉がつまる感じ、息苦しい、息をするときヒューヒューと音がする
麻痺性イレウス まひせいイレウス	便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐（おうと）、お腹が張る
中毒性巨大結腸 ちゅうどくせいきょくだい けつちよう	発熱、お腹が張る、激しい腹痛、下痢、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、発汗、発熱、疲れやすい、体がだるい、力が入らない
頭部	めまい、意識の消失、ある薬を摂取したいと強く思いコントロールが出来ない、不眠、注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない、軽度の意識混濁、興奮状態、妄想、意識の低下、意識の消失
顔面	顔面蒼白
目	幻覚
口や喉	喉のかゆみ、唇が青紫色になる、声が出にくい、喉がつまる感じ、息をするときヒューヒューと音がする、吐き気、嘔吐
胸部	動悸、息苦しい、呼吸回数が減る、呼吸が浅くなる、息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする、突然の息切れ
腹部	お腹が張る、激しい腹痛、食欲不振
手・足	手足が冷たくなる、手足のふるえ、手足の指先が青紫色になる
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹
便	便やおならが出にくい、下痢、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）

【この薬の形は？】

販売名	オキシコンチン TR 錠 5 mg	オキシコンチン TR 錠 10 mg
形状	表面  裏面  側面 	表面  裏面  側面 
直径	7.1 mm	
厚さ	4.8 mm	4.7 mm
重さ	156 mg	
色	うすいだいだい色	白色
識別コード	Ⓧ 920 : 5	Ⓧ 921 : 10

販売名	オキシコンチン TR 錠 20 mg	オキシコンチン TR 錠 40 mg
形状	表面  裏面  側面 	表面  裏面  側面 
直径	7.1 mm	
厚さ	4.5 mm	4.3 mm
重さ	156 mg	
色	淡赤色	微黄白色～淡黄色
識別コード	Ⓧ 922 : 20	Ⓧ 923 : 40

【この薬に含まれているのは？】

販売名	オキシコンチン TR 錠 5 mg	オキシコンチン TR 錠 10 mg	オキシコンチン TR 錠 20 mg	オキシコンチン TR 錠 40 mg
有効成分	オキシコドン塩酸塩水和物			
添加物	ポリエチレンオキシド、4000K、無水クエン酸、トコフェロール酢酸エステル、軽質無水ケイ	ポリエチレンオキシド、4000K、無水クエン酸、トコフェロール酢酸エステル、軽質無水ケイ	ポリエチレンオキシド、4000K、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、乳糖水和物、	ポリエチレンオキシド、4000K、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、乳糖水和物、

販売名	オキシコンチン TR錠 5 mg	オキシコンチン TR錠 10 mg	オキシコンチン TR錠 20 mg	オキシコンチン TR錠 40 mg
	酸、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、乳糖水和物、酸化チタン、マクロゴール4000、三二酸化鉄、黄色三二酸化鉄	酸、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、乳糖水和物、酸化チタン、マクロゴール4000	酸化チタン、マクロゴール4000、三二酸化鉄	酸化チタン、マクロゴール4000、黄色三二酸化鉄

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・この薬を他人に渡すことは、法律で禁じられています。
- ・余ったり不要になったりした場合は、薬局や医療機関へ返納してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：シオノギファーマ株式会社

販売会社：塩野義製薬株式会社 (<https://www.shionogi.com/jp/ja/>)

医薬情報センター

電話：0120-501-074

受付時間：9時～17時（土、日、祝日を除く）